

服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

便秘薬

便秘の治療に

## フジツージー<sup>®</sup> 〈錠剤〉

- ◆ **フジツージー** は、就寝前の服用により大腸の正常な運動を促進して自然なお通じを整える、おなかにやさしい便秘薬です。
- ◆ のみやすい小型の錠剤で、症状に応じた服用量の加減が容易です。



### 使用上の注意



#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

1. **本剤**を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。  
他の瀉下薬(下剤)
2. 授乳中の方は**本剤**を服用しないか、**本剤**を服用する場合は授乳を避けてください。
3. 大量に服用しないでください。



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。  
(1) 医師の治療を受けている人  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人  
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人  
(4) 次の症状のある人  
はげしい腹痛、吐き気・嘔吐
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	はげしい腹痛、吐き気・嘔吐

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。  
下痢
4. 1週間位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

### 効 能 ・ 効 果

- 便秘
- 便秘に伴う次の症状の緩和：頭重、のぼせ、肌あれ、吹出物、食欲不振(食欲減退)、腹部膨満、腸内異常醗酵、痔

裏面もお読みください。

## 用法・用量

次の1回量を1日1回、就寝前(または空腹時)に水またはお湯で服用してください。  
ただし、初回は最小量を用い、便通の具合や状態をみながら少しずつ増量または減量してください。

年齢	1回量	1日服用回数
15才以上(成人)	1~3錠	1回
11才以上15才未満	1~2錠	
11才未満	服用しないこと	

### 服用に際してのご注意

- ①初回は最小量(1錠)をコップ1~2杯の水またはぬるま湯で服用してください。
- ②個人差はありますが、就寝前に服用すると寝ている間に大腸がはたらき、朝(目安として6~12時間後)には効果があらわれます。
- ③最小量(1錠)で便通の改善がみられないようでしたら、段階的に用量を増やして(2錠又は3錠)、ご自分に合った服用量を見つけてください。
- ④便秘の改善がみられたら、服用量を減らしたり、服用間隔をあけて、正常な排便習慣を取り戻しましょう。

### <用法・用量に関連する注意>

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)本剤は腸溶剤ですので、かんだり、つぶしたりせずにそのまま服用してください。  
また、制酸剤または牛乳と同時に服用しないでください。
- (4)錠剤の取り出し方 右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

<PTPシートの取り出し図>



## 成分・分量

1日量(3錠)中

成分	含量	はたらき
センソサイドカルシウム	40mg (センジドA・Bとして16mg)	大腸の正常な運動を促進し、お通じを整えます。
ピサコジル	15mg	腸内の水分を保ち、便をやわらかくしてお通じを整えます。
ゲンチアナ末	50mg	苦味健胃生薬であり、整腸作用があります。

添加剤：乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸Mg、ポリソルベート80、メタクリル酸Ca重合体LD、ラウリル硫酸Na、白糖、ポビドン、酸化チタン、タルク、炭酸Ca、プルラン、カルナバウ、赤色3号 含有

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。

### 便秘についてのアドバイス

- 規則的なトイレの習慣をつけることが大切です。
- 早朝、起きがけに冷たい水または牛乳をのむと有効です。
- 時間をきめて積極的に運動・散歩などを行って、腸管に刺激を与えるよう努力しましょう。
- 直腸を刺激するために繊維質の多い食物(野菜類・果物等)と水分を多くとるようにしましょう。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品 (OTC学術室)  
電話 (048) 648-1118 9:00~17:30(土、日、祝日を除く)

製造販売元 **株式会社 富士薬品**

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地